# 有機農業産地づくり推進

# 【令和4年度予算概算要求額 3,000(-)百万円の内数】

### <対策のポイント>

地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村等の取組を推進するため、地方自治体のビジョン・計画に基づく有機農業の団地化や学校給食等での利用など、有機農業の生産 から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻きこんで推進する取組の試行や体制づくりについて、物流の効率化や販路拡大等の取組と一体的に **支援し、有機農業推進のモデル的先進地区を創出します。** 

# く事業の内容>

#### 1. 先進地区創出に向けた取組試行

有機農業に地域ぐるみで取り組む市町村等において、有機農業の生産 から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き こんだ取組を推進するため、

- ① 構想の聴取 (農業者、事業者、住民、専門家等からの意見の聴取 等)
- ② 試行的な取組の実施(団地化、集出荷体制の構築、学校給食での 利用、量販店での有機コーナー設置、地場での加工品製造等)
- ③ 実施計画の取りまとめ 等を支援。

### 2. 推進体制構築支援

実施計画に基づく、生産から消費まで一貫した地域ぐるみの取組の継 続的な実施に向け、

- ① 推進体制が整うまでの暫定段階の取り組み
- ② 農業者、事業者、地域内外の住民等の関与する推進体制づくり 等を支援。
- ★民間資金の活用を行う場合は支援期間を延長

#### (関連事業)先進事例の共有

各地の取組を発信し横展開を促す会議等の開催を支援。

(有機農業推進総合対策事業のうち産地間・自治体間連携促進事業 において実施)

#### <1、2の事業の流れ>

定額

定額、1/2以内



### く事業イメージ>

# 市町村主導での取組を推進

有機農業の生産から消費まで一貫した取組 農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ取組 物流の効率化や販路拡大等の取組と一体的に支援

#### 生産

- ・有機農業にまとまって取り組む地域の形成 (地域説明会、団地化、技術指導等)
- ・堆肥等有機資材の供給体制の整備
- 集出荷体制の構築
- ・産消提携
- · 産地見学会 · 体験会
- ・ECサイトの構築
- ・直売所の充実

- ・学校給食での利用
- 地産地消の展開
- ・地域外都市との提携

2025年までに100市町村で

オーガニックビレッジを宣言

(2030年までに全国の1割以上の

- 市町村(約200)で宣言)
- ・マルシェなど域内流通での

加工・流通

有機農産物を原料とした 地場での加丁品の製造

・産地リレー体制の構築

・ビジネスマッチング

・地域の外食や旅館などで の利用

量販店での 有機コーナーの設置

第1段階

第3段階以降

構想→試行→実施計画 ※定額補助(上限付)

着手→体制づくり→体制構築 ※定額補助(上限付·1/2相当)

第2段階

継続的な実施へ ※自立へ

★民間資金の活用を行う場合は支援期間を延長

# オーガニックビレッジを中心に、有機農業の取組を全国で面的に展開

「お問い合わせ先」農産局農業環境対策課 03-6744-2114

# 有機農業推進総合対策緊急事業

#### <対策のポイント>

みどりの食料システム戦略に基づき、有機農産物の販路拡大・新規需要開拓を促進します。

# く事業の内容>

#### 1. 有機農産物の取扱促進事業

有機農産物の試行的な取扱いを支援し、有機農産物の販路拡大 と新規需要開拓を促進。

- ① 有機農産物の販路拡大推進 有機農産物の新規取扱いに伴う掛かり増し経費を支援
- ② 推進活動費

有機農業の環境保全効果の消費者への訴求、及び、有機農業に取り組む生産者と新たに有機農産物の取扱いを希望する事業者とのマッチングを推進

# く事業イメージ>



+

# 有機農業の環境保全効果の 消費者への訴求

(消費者セミナーの開催、広報素材の作成・提供・周知等)

新たに有機農産物の取扱いを希望する事業者とのマッチングを推進

+

(事業者向けの商談会の開催)

#### <事業の流れ>



- ・環境保全効果を有する有機農業で生産された農産物の需要を喚起
- ・事業者に有機農産物の取扱いを促し、<u>有機農産物の多様な販路を</u> 新たに確保

[お問い合わせ先] 農産局農業環境対策課 03-6744-2114